

創始者松本さん、柏で個展

100歳の「年輪」 下総玩具500点

柏市在住で、素朴な土人形で知られる「下総玩具」の創始者、松本節太郎さんの「100歳の個展」が、同市旭町4丁目のギャラリーヌーベルで開かれている。約500点の作品の中には、100歳を迎えた心境がうかがえる作品もある。15日には松本さんも会場を訪れるという。

松本さんの代表的な作で作られた焼き物で、顔を描いて竹串を刺品は、粘土を手でひねる「下総首人形」と呼ばれます。わら束にこの竹串の「てびねり」という手法。天日干し後に絵の具、人形をいくつも刺し込



新作「雨だれ」 尽きぬ創作意欲

み、柱や壁につり下げて飾る。

十二支や西遊記、七福神、動物など題材は多彩。愛嬌のある顔やカラフルな色彩が個性的だ。

最新作は「雨だれ」。

高さ2〜3センチほどの滴状の造形作品だ。「軒先から土に落ちる滴の一滴、一滴。そこに今も創作意欲の旺盛な100歳の人生が置き換えられているようです」と、同ギャラリーを経営する鈴木昇さんは話す。

同展は、88年から東葛地域の人らに民間文化賞を贈っているグループのメンバーの鈴木さんが「下総玩具の独特の味わいを多くの人に知ってほしい」と、企画した。ギャラリー2階の和室を会場に今月末まで。無料。休日など問い合わせは同ギャラリー(☎04・7146・6800)へ。

松本さんの多彩な下総玩具に見入る来場者＝柏市旭町4丁目で